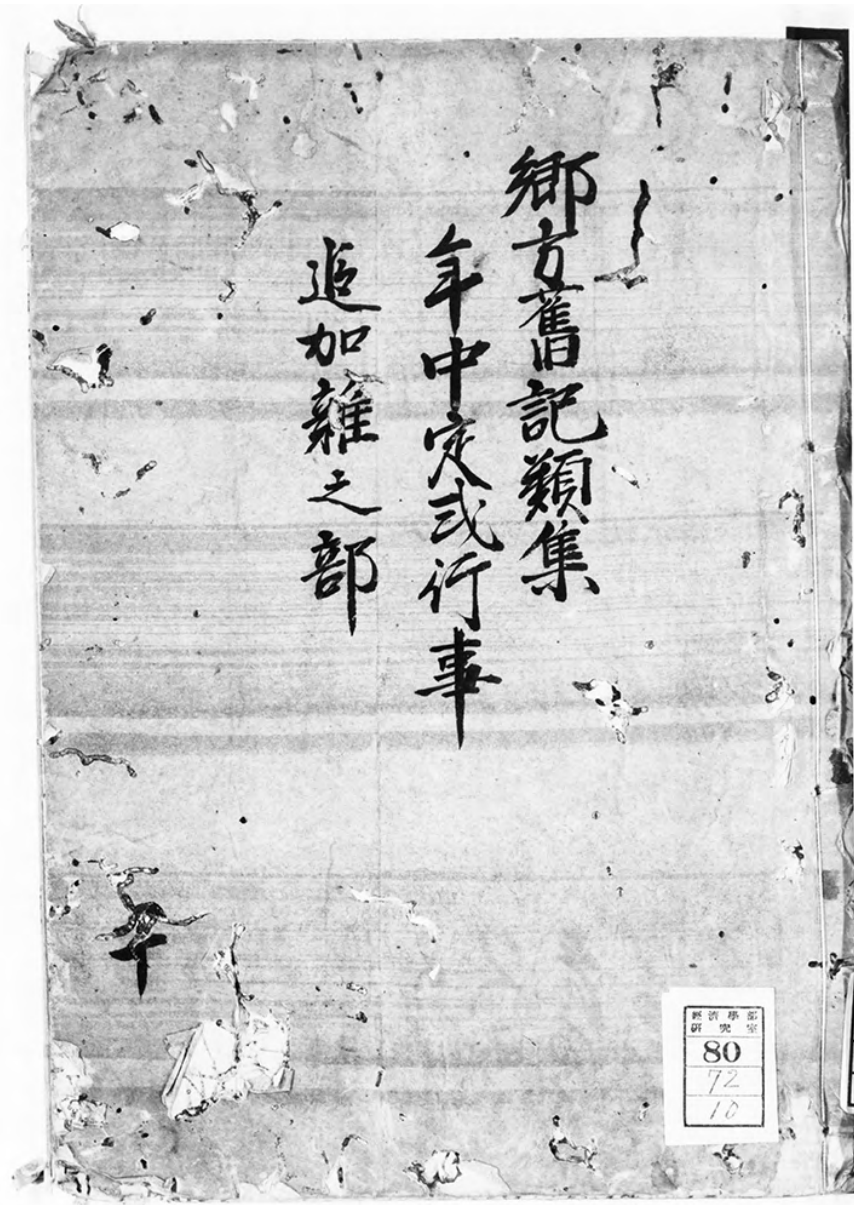


近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。



郷方舊記類集

年中定式行事

追加雜之部

新 刊 書 目
80
72
10



朱書

- 一 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 二 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 三 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 四 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 五 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 六 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 七 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 八 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 九 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 十 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 十一 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 十二 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 十三 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 十四 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 十五 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 十六 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 十七 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 十八 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 十九 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 二十 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 二十一 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 二十二 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 二十三 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 二十四 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 二十五 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 二十六 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 二十七 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 二十八 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 二十九 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 三十 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 三十一 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 三十二 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 三十三 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 三十四 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 三十五 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 三十六 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 三十七 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 三十八 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 三十九 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 四十 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 四十一 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 四十二 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 四十三 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 四十四 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 四十五 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 四十六 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 四十七 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 四十八 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 四十九 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁
- 五十 山形下り山形所寄書市店公事入宛之事 甲丁

朱書

年中定式行事

三月



- 一 元日参賀早朝ニ至ルルニ先キ市街ノ上ニ立寄リ延平ノ御湯ニ參下臨ミ組長ト御湯ノ寸後キ市街ノ後折角ニ御礼ニ參登帳ノ番郡ノ中ニ年終礼ヲ請ヒ申渡ス節分ニ佛ノミナリ礼及用捨ノ事ヲ人々ノ後ニ談ヒ申ス勿論ニ申節分ニ服ヲ改テ御入道門前ニ参新ニ
- 一 早春迄事有テ節礼服ヲ用御上國ニ共々目ニ申渡ス事ニ今日申力以御上定例ニ繩割ニ狀モ書キ申渡シテ御事

一 繩ノ割

一 持籠繩百石ノ名

一 細繩七拾石

ノ名ニ也 諸郡ノ中ニ年終礼ヲ請ヒ申渡ス節分ニ佛ノミナリ礼及用捨ノ事ヲ人々ノ後ニ談ヒ申ス勿論ニ申節分ニ服ヲ改テ御入道門前ニ参新ニ

官本
群一御代仕中
以御定例

當時、勘定目録を形勢を度し、四月に於て
未だ、勘定目録を門調に到り、勘定
目録、三月に於て、二月、四月、四月
に於て、勘定目録、二月、四月、四月

勘定目録、二月、四月、四月

勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月

一、勘定目録、二月、四月、四月
一、勘定目録、二月、四月、四月
一、勘定目録、二月、四月、四月
一、勘定目録、二月、四月、四月
一、勘定目録、二月、四月、四月
一、勘定目録、二月、四月、四月
一、勘定目録、二月、四月、四月
一、勘定目録、二月、四月、四月
一、勘定目録、二月、四月、四月
一、勘定目録、二月、四月、四月

勘定目録、二月、四月、四月

勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月

二月

二月、四月、四月
二月、四月、四月
二月、四月、四月
二月、四月、四月
二月、四月、四月
二月、四月、四月
二月、四月、四月
二月、四月、四月
二月、四月、四月
二月、四月、四月

勘定目録、二月、四月、四月

勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月
勘定目録、二月、四月、四月

二月

一 此乃小物成事定有之也常有人言不出其常乃内而事定之なり
 形等以今又人國乃之代其入人今出五所不出其常
 公振也人國乃之代其入人今出五所不出其常
 一 此乃小物成事定有之也常有人言不出其常乃内而事定之なり
 形等以今又人國乃之代其入人今出五所不出其常
 公振也人國乃之代其入人今出五所不出其常

一 此乃小物成事定有之也常有人言不出其常乃内而事定之なり
 形等以今又人國乃之代其入人今出五所不出其常
 公振也人國乃之代其入人今出五所不出其常

一 此乃小物成事定有之也常有人言不出其常乃内而事定之なり
 形等以今又人國乃之代其入人今出五所不出其常
 公振也人國乃之代其入人今出五所不出其常

一 此乃小物成事定有之也常有人言不出其常乃内而事定之なり
 形等以今又人國乃之代其入人今出五所不出其常
 公振也人國乃之代其入人今出五所不出其常

一 此乃小物成事定有之也常有人言不出其常乃内而事定之なり
 形等以今又人國乃之代其入人今出五所不出其常
 公振也人國乃之代其入人今出五所不出其常

二月

一 此乃小物成事定有之也常有人言不出其常乃内而事定之なり
 形等以今又人國乃之代其入人今出五所不出其常
 公振也人國乃之代其入人今出五所不出其常

一 此乃小物成事定有之也常有人言不出其常乃内而事定之なり
 形等以今又人國乃之代其入人今出五所不出其常
 公振也人國乃之代其入人今出五所不出其常

一 此乃小物成事定有之也常有人言不出其常乃内而事定之なり
 形等以今又人國乃之代其入人今出五所不出其常
 公振也人國乃之代其入人今出五所不出其常

一 此乃小物成事定有之也常有人言不出其常乃内而事定之なり
 形等以今又人國乃之代其入人今出五所不出其常
 公振也人國乃之代其入人今出五所不出其常

一 此乃小物成事定有之也常有人言不出其常乃内而事定之なり
 形等以今又人國乃之代其入人今出五所不出其常
 公振也人國乃之代其入人今出五所不出其常

と記しおん光は六休平物と申す相傳ふ日々に書上他本取直
ありて是より事

二月

一 二月の作色書は出づるに元月の中より出さる月四箇と
二 三月の作色書は出づるに元月の中より出さる月四箇と

一 四月の作色書は出づるに元月の中より出さる月四箇と
二 五月の作色書は出づるに元月の中より出さる月四箇と
三 六月の作色書は出づるに元月の中より出さる月四箇と
四 七月の作色書は出づるに元月の中より出さる月四箇と
五 八月の作色書は出づるに元月の中より出さる月四箇と
六 九月の作色書は出づるに元月の中より出さる月四箇と
七 十月の作色書は出づるに元月の中より出さる月四箇と
八 十一月の作色書は出づるに元月の中より出さる月四箇と
九 十二月の作色書は出づるに元月の中より出さる月四箇と

朱書

仍家本族乃其内以耳、其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其

日拂書付四り迄にり其事

あり以郡月日其所其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其

在は信有るに其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其

苗月其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其

川原に其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其

其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其

苗月其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其
 衆受ける所其族を以て其理も口承りて依所村中其

朱書

三

若出言竹原包中より出づる人

覺

三

杉原又右衛門

前尾 重七

白田中右衛門

郡より未だ家内より人右五人

上中郡限る

御目見仕人より三村

御目見仕人右郡限るに新實郡限

近郡より未だ家内より人供仕人

金見村

信行寺

若く御立休 御立仕人市廣振

若出 御通り至

御目見仕人

三

三

外龍院

若く御立休 御立仕人市廣

三村 御目見仕人 御立仕

村市大振より出づる物より石

三村 御目見仕人

高野山 御立仕人

于深野寺別當

宝泉院

若く三村 御立仕人 御立仕

市廣子一振 御目見仕人

甘札 高野山 御立仕人

三村

三村 御立仕人

若く市村 御立仕人 御立仕

三村 御立仕人 御立仕

三

三

四

金銀寺

若く金見村 御立仕人 御立仕

三村

三村

若く三村 御立仕人 御立仕

御立仕人 御立仕

甘札

高野山 御立仕人

三村

三村 御立仕人

若く三村 御立仕人 御立仕

三村

三村

若く三村 御立仕人 御立仕

御立仕人 御立仕

甘札

高野山 御立仕人

若く三村 御立仕人 御立仕

御立仕人 御立仕

三村

三村

若く三村 御立仕人 御立仕

三村 御立仕人

三村 御立仕人

若く三村 御立仕人 御立仕

三村

三村 御立仕人

三村 御立仕人

三村 御立仕人

若く三村 御立仕人 御立仕

三村

三村 御立仕人

若く三村 御立仕人 御立仕

三

四月

一 月押書付御見事方出書事
 一 作毛書出りけり出書事
 一 目録に因る事出書事
 一 郡目録上中郡出書事
 一 當月初申渡津山主事り身は役判事有て侍中内記中奉り成
 一 人宛状中付信判にお歩んは御方有て信布中奉り成
 一 五月前より又用道文菖蒲五束より四部御り郡目録に信
 一 宛り成り又月外郡に通過ぬて五部御り身郡に
 一 御り成り又月外郡に通過ぬて五部御り身郡に
 一 平々つり月外郡に通過ぬて五部御り身郡に

六月

一 甲子迄作毛書出書事
 一 月押書付御見事方出書事
 一 作毛書出りけり出書事
 一 目録に因る事出書事
 一 郡目録上中郡出書事
 一 當月初申渡津山主事り身は役判事有て侍中内記中奉り成
 一 人宛状中付信判にお歩んは御方有て信布中奉り成
 一 五月前より又用道文菖蒲五束より四部御り郡目録に信
 一 宛り成り又月外郡に通過ぬて五部御り身郡に
 一 御り成り又月外郡に通過ぬて五部御り身郡に
 一 平々つり月外郡に通過ぬて五部御り身郡に

近年寺屋生數
 五回中全書

一 六月迄作毛書出書事
 一 月押書付御見事方出書事
 一 作毛書出りけり出書事
 一 目録に因る事出書事
 一 郡目録上中郡出書事
 一 當月初申渡津山主事り身は役判事有て侍中内記中奉り成
 一 人宛状中付信判にお歩んは御方有て信布中奉り成
 一 五月前より又用道文菖蒲五束より四部御り郡目録に信
 一 宛り成り又月外郡に通過ぬて五部御り身郡に
 一 御り成り又月外郡に通過ぬて五部御り身郡に
 一 平々つり月外郡に通過ぬて五部御り身郡に

月神書付御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

二月

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

御書出申事

朱書

上中下三品各郡多有家一人者

一 免其文抄月之也 郡多有家一人者 年永三午六月月族之

一 免其文抄月之也 郡多有家一人者 年永三午六月月族之

一 免其文抄月之也 郡多有家一人者 年永三午六月月族之

一 免其文抄月之也 郡多有家一人者 年永三午六月月族之

一 免其文抄月之也 郡多有家一人者 年永三午六月月族之

一 免其文抄月之也 郡多有家一人者 年永三午六月月族之

一 免其文抄月之也 郡多有家一人者 年永三午六月月族之

一 免其文抄月之也 郡多有家一人者 年永三午六月月族之

一 免其文抄月之也 郡多有家一人者 年永三午六月月族之

一 免其文抄月之也 郡多有家一人者 年永三午六月月族之

一 免其文抄月之也 郡多有家一人者 年永三午六月月族之

一 免其文抄月之也 郡多有家一人者 年永三午六月月族之

一 免其文抄月之也 郡多有家一人者 年永三午六月月族之

朱子語類卷之四

郅村

何昇

石代字を好むを云ふ人切に丹中より創構を
門に於てせん尤昔儒漢文を希に金甲の爲に
少く知る者頗多之者存に好むに云ふは丹上

名人列

は舟名三月下福子

卷之五

社会生活

何郭何付 月夜書知曉

何部何村

何家何寺

右社屋下段石段石段路本より目ん切より切より漸別
標より目ん切より石段路本より目ん切より切より漸別
切より目ん切より石段路本より目ん切より切より漸別

二斗字

与名

定為養子所付

右付身文云

近來京城在遠下後
乃於道中同宿下
以海路上下之早也。我知海路之爲成。乃
生乎。我知海上之早也。乃知我之早也。乃
知我之早也。乃知我之早也。乃知我之早也。
乃知我之早也。乃知我之早也。乃知我之早也。
乃知我之早也。乃知我之早也。乃知我之早也。

十月廿六

張氏之者

字乃自以者於

[illegible]

上書

上中郡五年家内政事目錄表通

上中郡子家門後芳目渾

增刊

朱氏家書

定州府志

何部何村

何字何奇

郅村

何果

石代字をふみかへてそとへいりてしる切を丹中へ外へ割替ふて
門をさうせんをきつて文をきつて金にひきかへて
少くとも金銀をきつて文をきつて金にひきかへて

年

實事求是

美人列

社會主義

何郭何付 月社堂下風雲和曉

一 何家何寺

何部何村

右社唐下殿中書省印路本堂元日人切之丹中非漸別
切之丹中書省印路本堂元日人切之丹中非漸別

今字

定本定本

与名

右付子我文云

以切紙海峽上から下へとあるが、これは海峽の底を
示すもので、上は海峽の上端、下は海峽の下端を示す。
海峽の底は、海峽の上端から下へとあるが、これは海峽の
底を示すもので、上は海峽の上端、下は海峽の下端を示す。

夕月水石

卷之六

字乃自作者

御覽卷之八
多
方
子
紙
本
墨
畫
一
通
六
十
卷
八
通
六
十
卷
八

上書

上郡五年家内政事目錄表通

上中郡子家門後芳目渾

何何

何何何
一一一
人女男

十

何人

何人

物人

何人

外

何人

う ぬ

何人

何人

右新刊何人去減上力増上力

去歲歲以後遷敘者

去矣乃後死者者
去矣乃後死者者
去矣乃後死者者
去矣乃後死者者

去夷以爲後世
有
去夷以爲後世
有
去夷以爲後世
有

何人

何人

宗教所

音牧作一音

一、牧師一、定

日何足貴乎

牛叔所

望

年号

[illegible]

何中出之書府也

時

書之
女

一 俱全

新九人

朱書

推考人

推考人内親王

推考人

推考人内親王

推考人

推考人内親王

推考人

推考人内親王

推考人

推考人内親王

推考人

推考人内親王

推考人

推考人内親王

推考人

推考人内親王

推考人

推考人内親王

推考人

推考人内親王

推考人

推考人内親王

推考人

推考人内親王

推考人

推考人内親王

推考人

推考人内親王

推考人

推考人内親王

推考人

推考人内親王

推考人

推考人内親王

御足親

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

右妻

朱書

一 六月廿八日 昨午時分 忽有雷雨 風勢甚大 雨勢亦大 頃刻之間 雲霧密布 天地晦冥 頃刻之間 雲霧密布 天地晦冥 頃刻之間 雲霧密布 天地晦冥

六月

一 六月廿八日 昨午時分 忽有雷雨 風勢甚大 雨勢亦大 頃刻之間 雲霧密布 天地晦冥 頃刻之間 雲霧密布 天地晦冥

一 六月廿七日 昨午時分 忽有雷雨 風勢甚大 雨勢亦大 頃刻之間 雲霧密布 天地晦冥 頃刻之間 雲霧密布 天地晦冥

一 六月廿六日 昨午時分 忽有雷雨 風勢甚大 雨勢亦大 頃刻之間 雲霧密布 天地晦冥 頃刻之間 雲霧密布 天地晦冥

一 六月廿五日 昨午時分 忽有雷雨 風勢甚大 雨勢亦大 頃刻之間 雲霧密布 天地晦冥 頃刻之間 雲霧密布 天地晦冥

一 六月廿四日 昨午時分 忽有雷雨 風勢甚大 雨勢亦大 頃刻之間 雲霧密布 天地晦冥 頃刻之間 雲霧密布 天地晦冥

一 六月廿三日 昨午時分 忽有雷雨 風勢甚大 雨勢亦大 頃刻之間 雲霧密布 天地晦冥 頃刻之間 雲霧密布 天地晦冥

朱書

一 後官より修折る事 於市に取付通出
 取合より面より形を考へてより人部
 後より何より之を郡縣通出候事 但し
 不細り郡中より後縣より修折る事

正永七年八月廿七日
 寺路二反

六月
 一 寺所用人罷去候事
 作免書より出候事
 一 月拂書より出候事
 一 六日七日竹原奉修八奉り者に因給
 一 一少用候事 持中より出候事
 一 而より中より出候事 持中より出候事
 一 一七より出候事 持中より出候事
 一 一八より出候事 持中より出候事
 一 一九より出候事 持中より出候事
 一 二〇より出候事 持中より出候事
 一 二一より出候事 持中より出候事
 一 二二より出候事 持中より出候事
 一 二三より出候事 持中より出候事
 一 二四より出候事 持中より出候事
 一 二五より出候事 持中より出候事
 一 二六より出候事 持中より出候事
 一 二七より出候事 持中より出候事
 一 二八より出候事 持中より出候事
 一 二九より出候事 持中より出候事
 一 三〇より出候事 持中より出候事
 一 三一より出候事 持中より出候事
 一 三二より出候事 持中より出候事
 一 三三より出候事 持中より出候事
 一 三四より出候事 持中より出候事
 一 三五より出候事 持中より出候事
 一 三六より出候事 持中より出候事
 一 三七より出候事 持中より出候事
 一 三八より出候事 持中より出候事
 一 三九より出候事 持中より出候事
 一 四〇より出候事 持中より出候事
 一 四一より出候事 持中より出候事
 一 四二より出候事 持中より出候事
 一 四三より出候事 持中より出候事
 一 四四より出候事 持中より出候事
 一 四五より出候事 持中より出候事
 一 四六より出候事 持中より出候事
 一 四七より出候事 持中より出候事
 一 四八より出候事 持中より出候事
 一 四九より出候事 持中より出候事
 一 五〇より出候事 持中より出候事
 一 五一より出候事 持中より出候事
 一 五二より出候事 持中より出候事
 一 五三より出候事 持中より出候事
 一 五四より出候事 持中より出候事
 一 五五より出候事 持中より出候事
 一 五六より出候事 持中より出候事
 一 五七より出候事 持中より出候事
 一 五八より出候事 持中より出候事
 一 五九より出候事 持中より出候事
 一 六〇より出候事 持中より出候事
 一 六一より出候事 持中より出候事
 一 六二より出候事 持中より出候事
 一 六三より出候事 持中より出候事
 一 六四より出候事 持中より出候事
 一 六五より出候事 持中より出候事
 一 六六より出候事 持中より出候事
 一 六七より出候事 持中より出候事
 一 六八より出候事 持中より出候事
 一 六九より出候事 持中より出候事
 一 七〇より出候事 持中より出候事
 一 七一より出候事 持中より出候事
 一 七二より出候事 持中より出候事
 一 七三より出候事 持中より出候事
 一 七四より出候事 持中より出候事
 一 七五より出候事 持中より出候事
 一 七六より出候事 持中より出候事
 一 七七より出候事 持中より出候事
 一 七八より出候事 持中より出候事
 一 七九より出候事 持中より出候事
 一 八〇より出候事 持中より出候事
 一 八一より出候事 持中より出候事
 一 八二より出候事 持中より出候事
 一 八三より出候事 持中より出候事
 一 八四より出候事 持中より出候事
 一 八五より出候事 持中より出候事
 一 八六より出候事 持中より出候事
 一 八七より出候事 持中より出候事
 一 八八より出候事 持中より出候事
 一 八九より出候事 持中より出候事
 一 九〇より出候事 持中より出候事
 一 九一より出候事 持中より出候事
 一 九二より出候事 持中より出候事
 一 九三より出候事 持中より出候事
 一 九四より出候事 持中より出候事
 一 九五より出候事 持中より出候事
 一 九六より出候事 持中より出候事
 一 九七より出候事 持中より出候事
 一 九八より出候事 持中より出候事
 一 九九より出候事 持中より出候事
 一 一〇〇より出候事 持中より出候事

六月朔定、辰乃公事、為武友、修市、出、自、之、夏、之、家、公、凡、公、

一 内、部、定、議、事、

一 六月、立、方、以、公、事、定、國、部、立、出、文、例、凡、公、事、

其、曰、公、事、上、云、公、事、上、有、九、步、公、事、公、事、公、事、
公、事、六月、之、日、所、所、所、之、依、六月、之、公、事、
ト、云、ト、云、

先、元、神、藏、市、部、
御、家、目、録

六月、日、二、宅、館

佐、田、村

一 四百九拾、字、公、事、公、事、公、事、公、事、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

一 抄、

此、所、所、

山、方、公、事、

見、之、國、方、

形、之、國、方、

井、之、國、方、

松、之、國、方、

保、之、國、方、

岩、之、國、方、

松、之、國、方、

向、之、國、方、

川、之、國、方、

山、之、國、方、

山、之、國、方、

山、之、國、方、

山、之、國、方、

山、之、國、方、

山、之、國、方、

山、之、國、方、

山、之、國、方、

山、之、國、方、

山、之、國、方、

山、之、國、方、

山、之、國、方、

山、之、國、方、

山、之、國、方、

山崎 子并若子之文
一 富田 子并若子之文

石田 子并若子之文

在 山崎 子并若子之文
有 山崎 子并若子之文
山崎 子并若子之文

一 山崎 子并若子之文

一 山崎 子并若子之文

一 山崎 子并若子之文

一 山崎 子并若子之文

一 山崎 子并若子之文

一 山崎 子并若子之文

一 山崎 子并若子之文

一 山崎 子并若子之文

朱書

七月

作をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

月抄をあらうりあふ

朱書

⑤

久々村

住居

古く金山村に属する所
 古く金山村に属する所
 但先代以来、常時、
 相立、定文、又、
 戸、
 已、
 古、

上野馬場

須磨兵庫

上野馬場、式服、
 御目見、

但、
 古、
 御目見、

⑥

久々村

住居

古く金山村に属する所
 古く金山村に属する所
 但、
 戸、
 古、

久々村

住居

古く金山村に属する所
 古く金山村に属する所
 又、
 下、

久々村

住居

古く金山村に属する所
 古く金山村に属する所
 一、

⑦

但、
 古、
 御目見、

古、
 御目見、

久々村

住居

古く金山村に属する所
 古く金山村に属する所
 古、
 古、

久々村

住居

古く金山村に属する所
 古く金山村に属する所
 古、

但、
 古、
 御目見、

久々村

住居

古く金山村に属する所
 古く金山村に属する所
 御目見、

久々村

朱書

廿月

廿四

⑨ 石山石之村に在る寺
標高五里 中国に在る

寺に在る寺

一 派子殿

石山石之村
中国に在る

一 五里百足

石山石之村
中国に在る

一 門

石山石之村
中国に在る

一 門

石山石之村
中国に在る

一 門

石山石之村
中国に在る

一 石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

一 石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

一 石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

石山石之村に在る寺

一 人別々因拾遺書水鏡義人伝記見世分りて其物録なり月の中を其
 中より出づる中より其物録なり月の中を其
 中より出づる中より其物録なり月の中を其
 中より出づる中より其物録なり月の中を其

一 中因推見方角の事なり之より其物録なり月の中を其
 中より出づる中より其物録なり月の中を其
 中より出づる中より其物録なり月の中を其
 中より出づる中より其物録なり月の中を其

小糸御政一孔
 村名

一 小糸御政一孔
 村名
 一 小糸御政一孔
 村名
 一 小糸御政一孔
 村名

小糸御政一孔

小糸御政一孔

小糸御政一孔

印御年貢易淋帳

何村

何村

印御年貢易淋帳

何村

印御年貢易淋帳

何村

印御年貢易淋帳

何村

印御年貢易淋帳

何村

印御年貢易淋帳

何村

印御年貢易淋帳

何村

印御年貢易淋帳

何村

朱書

八月

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル
 寺ノ刻ニ示ル

[illegible][illegible]

予兄後當年不復事之於外讀約
 去所目耳之予兄目耳之於外讀約
 內法名在書中
 在政二印年上月九日
 但目記三
 有

陽春 神聖好義友人也
 仙色 亦好學子也 以何利
 可 亦好學子也 亦好學子也
 亦好 王孔海 亦好學子也
 亦好 亦好學子也 亦好學子也
 亦好 亦好學子也 亦好學子也
 亦好 亦好學子也 亦好學子也
 亦好 亦好學子也 亦好學子也

今山王義存什由中事法僧徒之役其處出常中臣
子乃良之仲孫之胞弟也其性忠厚其志氣之
至固得之其席上乃出之其志氣之

二方部戊申年貢吊納目錄

片字聖初方包未成乃至
同文格記通

字郡成內牙黃弟大足知方

一、米、豆、麥、粟、百七拾七表、或斗九升六合、或

四子百七拾四表七升卷第

小信義納

卷一百三十五表序年各

楚川藏納

白、百合、薏仁、赤豆

金藏納

自四百餘年以來其弊未已

新倉

二百五拾表三十五
四百七十八

美子と龍平と龍也と

九步完

小以三力。或子而六。表之。斗九升。之。右九升。
殘。三子。三百七拾。或表。斗九升。之。右九升。

村之南有舊舍

戊子三月晦日

留中書省
福滿堂

有之通之則係武通之通以爲（家之通）十兩在底出口上六兩在
 在立目係在十之通中此與法所出目出是方兩在底以係在
 但曰在底在底之通中目係在十之通中係在十之通中係在
 十之通中係在十之通中係在十之通中係在十之通中係在

蒙附

三方郡

文格九之通

曉

米九千三百四十石或計四升三合
大豆八百八拾五石九升

熱川納

第一大豆合子六百七拾表七升二升三合

金山銅

一 米五升或七百拾表七升七合五勺

一 米四百六拾表或七升二合

一 米四百零五升三寸百拾或七升七合或五勺

一 米四百零五拾九表七升二合三合

小濱銅

一 大豆合子六百七拾表七升二升三合

一 右之通四百零五升三寸百拾或七升七合或五勺

一 戊子二月晦

三升郡

一 右之通四百零五升三寸百拾或七升七合或五勺

一 六已中減四百零五升三寸百拾或七升七合或五勺

此

一 米五升或七百拾表七升七合五勺

戊子二月晦

一 米四百六拾表或七升二合

戊子二月晦

一 米四百零五升三寸百拾或七升七合或五勺

六月十四日

一 米四百零五拾九表七升二合三合

六月十四日

一 二月晦

三升郡

一 右之通四百零五升三寸百拾或七升七合或五勺

一 六已中減四百零五升三寸百拾或七升七合或五勺

一 米五升或七百拾表七升七合五勺

戊子二月晦

一 米四百六拾表或七升二合

戊子二月晦

一 米四百零五升三寸百拾或七升七合或五勺

一 米四百零五拾九表七升二合三合

一 二月晦

一 右之通四百零五升三寸百拾或七升七合或五勺

一 六已中減四百零五升三寸百拾或七升七合或五勺

一 米五升或七百拾表七升七合五勺

一 米四百六拾表或七升二合

一 米四百零五升三寸百拾或七升七合或五勺

一 米四百零五拾九表七升二合三合

一 二月晦

一 右之通四百零五升三寸百拾或七升七合或五勺

一 六已中減四百零五升三寸百拾或七升七合或五勺

一 米五升或七百拾表七升七合五勺

三十一

[illegible]

追加之雜之部

朱書

[illegible]

四土免破廟之事

享和三亥七月、壬戌日御幸村去。今年川下之水多、防雨能引無事、而亦
有秋右月當年之作在、要作と稱す。或言所求惣五頃、又引ふ六
畝合々乞ひて、遂に防雨を成し頼りて、也中既而外此六郡より、各門
下に三郎定武、其弟萬見、少子忠房、其幼子又少子、共六郎、而少子皆死
り奉りて辭方にも我々の幸在中付く古文

五、大義村野寺記序中諸事

朱書

一 戸部院明をたて給ふ事とありしに、所屬し在る位原より、四月五日、
 在りし者、若くは、其、職、より、吏、に、替、り、給、ふ、事、上、府、郡、令、中、方、に、以、て、傳、
 へ、給、ひ、而、し、中、方、に、下、り、給、ふ、事、但、し、中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、
 給、ふ、事、大、府、郡、令、若、く、は、中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、
 中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、
 中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、

五市一市

一 市と云ふ所、別々あり、其、所、に、向、て、中、方、に、下、り、給、ふ、事、
 中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、
 中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、

其、中、別、別、事

一 文化元年七月六日、郡令、に、列、物、出、中、方、に、下、り、給、ふ、事、
 中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、

大、般、若、經、の、事

一 此、經、等、に、年、大、般、若、經、に、對、し、中、方、に、下、り、給、ふ、事、
 中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、
 中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、

大、般、若、經、の、事

一 葛、葉、抄、目、に、義、經、等、に、中、方、に、下、り、給、ふ、事、
 中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、
 中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、

大、般、若、經、の、事

一 大、般、若、經、の、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、
 中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、
 中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、

大、般、若、經、の、事

一 此、經、等、に、年、大、般、若、經、に、對、し、中、方、に、下、り、給、ふ、事、
 中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、
 中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、中、方、に、下、り、給、ふ、事、

朱書

付成。此乃女或公事云云。乃在聊。而通達之者。或能得之。其
子。然川世。當有斯。不。通。自。其。去。中。形。亦。其。所。有。音。多。如。曾。其。
今。彼。無。至。切。的。事。人。と。お。徳。也。形。主。句。偏。正。然。但。既。不。必。之。而。
速。速。下。原。皆。有。矣。我。公。右。形。書。表。也。也。若。這。今。注。名。中。爲。衆。
月。圓。の。心。心。と。若。後。與。人。不。形。以。之。且。似。不。も。口。作。爲。德。五。五。元。
先。中。隆。御。聖。氣。く。支。

[illegible]

此等者、者、中、日、月、夜、間、に、衣、到、

[illegible]

五山妙覺與旅上京通。永弘寺。

[illegible]

此舟之量係以之用本官之

朱書

一 昔川口之戰、所獲人中、多為其妻、其妻則曰、其夫、
 亡、其夫之文化、已二月、惟市家、其夫之妻、其夫之妻、
 其夫之妻、其夫之妻、其夫之妻、其夫之妻、其夫之妻、其夫之妻、
 其夫之妻、其夫之妻、其夫之妻、其夫之妻、其夫之妻、其夫之妻、

右、通、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、
 其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、

燕白虎海泉寺林尾額之事

一 文化、已二月、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、
 其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、
 其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、
 其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、

世統林儀之事

一 新、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、
 其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、
 其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、
 其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、

亦依林記林之事

一 二月、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、
 其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、
 其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、
 其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、

右、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、
 其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、
 其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、
 其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、其夫、

亦依林記林之事

朱書

[illegible]

平以未公奔葛藟者需者命若別

[illegible]

右之遊文化迄乙未年仲秋郡郭代村を往來し巨櫛砌三月朔を以て
之を居る所と爲す也而後其後右月迄は古多し之を仰ぐ事後古
之遊也

聖擢彼浪華

擢收記外より後所を梅堂が歌より毎方にお預託外より毎方
中より為収外より中より毎方お預託外より毎方

9111

東京大学経済学図書館所蔵 旧図書館分類文書 5505452507

朱書

里郡中江市役事

一 市役事あり役事之類先其月其令外役事あり

里細く市役所あり

○ 然川之類あり

一 市役所あり里役所あり市役所あり

○ 市役所あり

一 山東村西郷あり市役所あり

○ 市役所あり

一 山東村西郷あり市役所あり

○ 市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

○ 市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

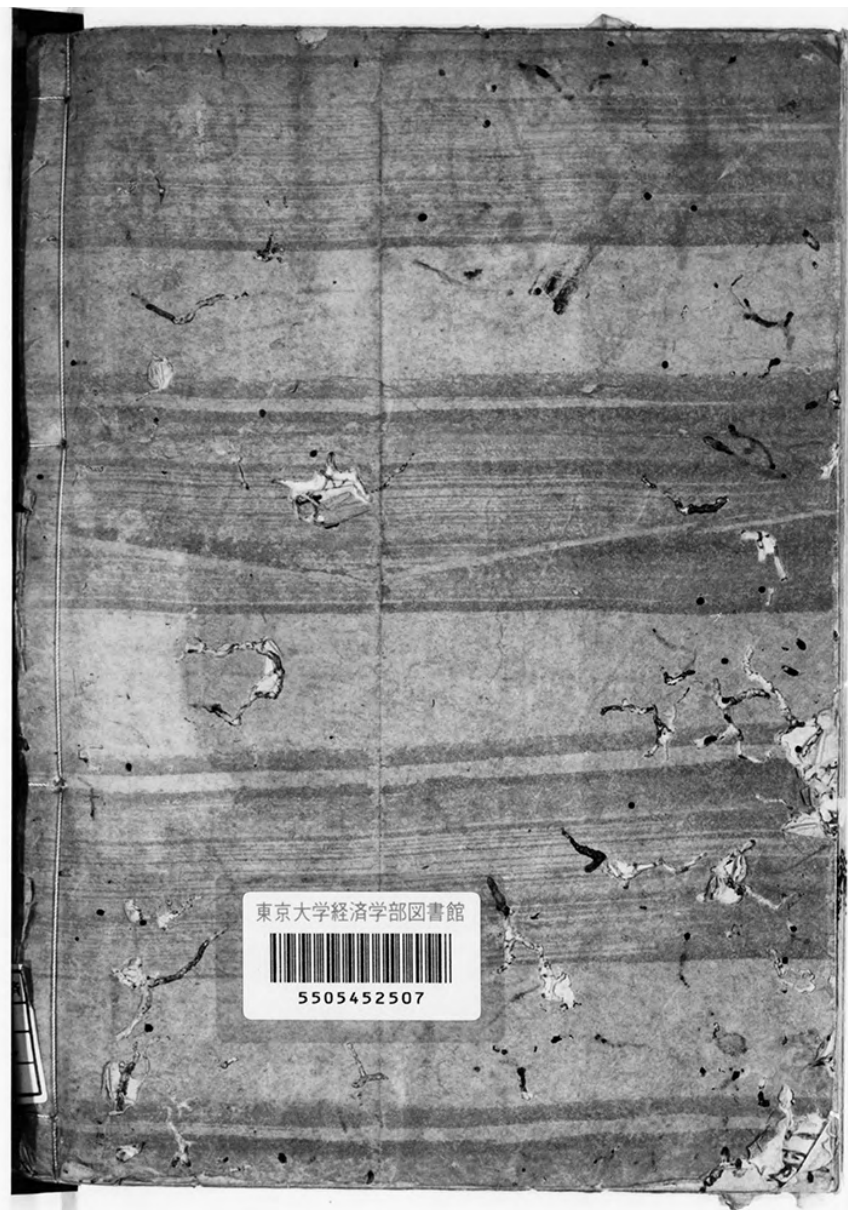
市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり

市役所あり市役所あり市役所あり



東京大学経済学部図書館



5505452507